◇◇

神宮寺小学校
理 科 室 通 信

理科室からこんにちは

第 44 号

～　親子で理科を楽しもう　～　　　平成 21 年 6 月 10 日

◇◇

～　寄生する虫たち　～

６月５日の帰りの会の時間，３年松組はパニックに陥りました。

「え～，先生これ何ですか。」

とＳ支援員からたずねられました。見てみるとモンシロチョウの幼虫（以下アオムシ）の体の中から何やら動くものが……。

「ああ，これはアオムシコマユバチですよ。」と筆者。

「え～？何ですかそれ。」

「では，機会を生かし，お話しましょう」

ということで，学級の子どもたちにも，今何が起きているのかをお話ししました。その上で観察です。

「え～」「キャー」「かわいそう」「おえ～っ」

アオムシからでてきた生き物は，アオムシコマユバチというハチの幼虫です。アオムシの体を食い破って出てくるとすぐに糸を吐き始め，マユを作っていました。このアオムシは残念ながら，畑にいる時に卵を生み付けられていたのです。このように他の生物から一方的に栄養を摂取し続けることを寄生といい，『アオムシコマユバチはアオムシに寄生する』といいます。この場合，アオムシは『宿主』といいます。

①アオムシコマユバチの親は，キャベツの葉とアオムシの唾液のにおいを手がかりにアオムシをさがす。

②キャベツの葉の裏に隠れているアオムシを見つける。

③アオムシの体に卵を生み付ける。

④アオムシの体の中で卵がかえる。

⑤ハチの幼虫はアオムシの急所を避け，できるだけアオムシにダメージを与えないように，アオムシの肉を食べ続ける。

⑥ハチの幼虫は，蛹になる時期に一斉にアオムシの外に出る（アオムシは死ぬ）。

⑦ハチの幼虫は糸を吐き，マユを作る。マユの中でサナギになる。

⑧一週間くらいでマユからハチが出てくる。（羽化）

きれいなマユができました

今はちょうど⑦～⑧の間です。どんなハチが出てくるか，みんなで継続観察中です。